

ネストル(Nestor)はピュロスの王である。ヘラクレスが彼の父ネレウスとその子らを殺害した時、彼だけは唯一生き残った。アルゴナウタイの一員であり、ケンタウロスの戦いに参加し、カリュドンの猪狩りに参加した。晩年にはトロイア戦争でアカイア勢について戦った。彼は最も高齡だったにもかかわらず、その知恵と雄弁と勇敢さで名高かった。「オデュッセイア」では、オデュッセウスの息子テレマコスが父の消息を求めてきたのを歓待した。

## 系譜

- 父はネレウス、母はクロリス。
- 妻はエウリュディケ（またはアナクシピア）、子はペインディケ、ポリュカステ、ペルセウス、ストラティコス、アレトス、エケブロン、ペイシストラトス、アンティロコス、トラシュメデス。



( 画像/系図/ネストル )

## 解説

- 別名、ネストール。
- トロイア戦争が始まった時、ネストールはおよそ110歳という高齡だったという。彼は頑強な黄金の楯をもっていた。ホメロスはしばしば彼を「ゲレニアの騎手」の通り名で呼んだ。
- ホメロスはネストールを基本的に老賢者風に表現するが、時おり滑稽にも描く。彼の助言の多くは、昔の功績を長々と自慢するための口実である。彼はネストールを退屈者と考えているように感じられる。

## オデュッセイアでのエピソード

- テレマコスはピュロスでネストールに会った。ネストールはトロイアからの帰還の様子を語ったが、オデュッセウスの消息は知らないという。ネストールは屋敷でテレマコスをもてなし、翌朝には馬と車を用意させた。テレマコスはペイシストラトスとスパルタへ向かった。(第3歌)
- スパルタからイタカへ向かう途中、ピュロスに着いた。テレマコスはネストールに会って歓待に引き止められるのは困るので、このまま船に乗って帰りたいとペイシストラトスに言って、そこで別れた。(第15歌)

# エピソード

**ヘラクレスに父兄弟を殺される** [ヘラクレス](#)が[ペロポネソス](#)半島を襲い、[エリス](#)と[ラケダイモン](#)と[ピュロス](#)の王国を破壊した時、ネストルはまだ少年だった。ヘラクレスはピュロスを占領した時、ネストルの父[ネレウス](#)とネストルの兄弟を皆殺しにしたが、ネストルはその時[ゲレニア](#)で育てられていたので、殺戮をまぬがれた。ピュロスでの戦闘の間に、ヘラクレスはピュロス人の味方をしていた[ハデス](#)を傷つけた。この冥府の王が崇拜されていたのはピュロスだけであった。

**ラピテス人に協力する** ネストルは[ラピテス](#)人が[ケンタウロス](#)と戦うのに参加し、[テセウス](#)や[ペレウス](#)と共に戦った。

**トロイア戦争に参加する** [トロイア戦争](#)では、ネストルと彼の子[アンティロコス](#)と[トラシュメデス](#)がギリシャ勢に参加した。ネストルは老齢であったので、戦闘よりは賢明な助言によって知られていたが、皆に尊敬されており、多くの作戦の決定に強い影響力を持っていた。

**アキレウスとアガ멤ノンを調停する** [アガ멤ノン](#)が[アキレウス](#)の恋人を取り上げたために二人が対立し、[アカイア](#)人の結束が危機にさらされた時、ネストルは二人の怒りをなだめようとした。しかし二人ともそれを聞こうとせず、和解はならなかった。

**トロイア勢に敗北を喫する** [ゼウス](#)は[アキレウス](#)の味方であったので、[アガ멤ノン](#)の夢にネストルの姿で現れて、[トロイア](#)陥落の時は目の前であると嘘を信じこませた。アガ멤ノンは集会の席で夢のことを語り、賢明なネストルでさえその夢を本当のことと信じた。戦ってみると、トロイア人の大勝利であり、[アカイア](#)人たちはさんざん打ちのめされた。ネストルは戦場を戦車で駆けていたが、[パリ](#)に馬を射ち殺され、そこへ[ヘクトル](#)がやってきて、殺されかけたところを、[ディオメデス](#)に救われた。ネストルはなおも戦ったが、[ゼウス](#)が彼の戦車の前に雷を落とすと、ようやく神意の前に人間は無力であることを悟り、退却した。

**アガ멤ノンにアキレウスとの和解を助言する** [アキレウス](#)が退陣している限り、戦いが[アカイア](#)人に有利な展開になることはない。ネストルはアキレウスへの怒りをなだめるよう、[アガ멤ノン](#)を説得した。アガ멤ノンは自分の失敗を悟り、アキレウスをなだめようと、彼から取り上げた[ブリセイス](#)を含む多くの贈物を贈った。アガ멤ノンはブリセイスには一切手をつけていないことを誓った。

**アキレウスへの使者になる** ネストルは[オデュッセウス](#)、[アイアス](#)、[ポエニクス](#)と共に[アキレウス](#)の所に遣わされた。アキレウスは贈物の内容を聞いても怒りをおさめることはなく、使いは失敗に終わった。その後、ネストルが戦場で[アスクレピオス](#)の子[マカオン](#)が傷ついたのを運び出しているのをアキレウスは見た。彼はアカイア人に同情し始め、本当に怪我をしたのがマカオンが確かめるために、[パトロクロス](#)を遣わした。

**パトロクロスを説得する** [パトロクロス](#)はネストルのテントを訪れた。パトロクロスは怪我人や、[アカイア](#)人の手痛い敗北について聴いた。ネストルは[アキレウス](#)の戦線復帰を請願し、それが駄目ならせめてパトロクロスだけでも復帰できないかと頼んだ。



(画像/ネストルにつぼを渡すアキレウス)

**トロイアから無事帰国する** **トロイア**陥落後、ネストルと**ディオメデス**は出航し、**レスボス**島で**メネラオス**と合流した。メネラオスは嵐にあって船を失い、5隻だけになってエジプトに漂着した。**ディオメデス**は**アルゴス**へ帰ったが、反乱が起こったため、イタリアへ向かった。ネストルは無事に故国へ帰還した数少ない**アカイア**人リーダーだった。

**テレマコスの訪問をうける** **テレマコス**が故国に帰ってこない父**オデュッセウス**の消息を求めて**ピュロス**へやってきた。ネストルは彼に、**アカイア**人たちの運命を語り、屋敷へ案内して泊めた。次の日、ネストルの末娘**ポリュカステ**はテレマコスを風呂に入らせ、油を塗った。テレマコスは**スパルタ**へ向かった。

**アポロンから長寿を授かる** **アポロン**の助けによって、彼は三世代を生きた。アポロンはかつて**ネストル**の母**クロリス**の兄弟姉妹を殺したので、その奪った命の分をネストルに与えたのである。**トロイア戦争**の時、彼はすでに二世代分の年月を生きており、三世代目に入っていた。彼がどのように死んだかは知られていない。